



### お客様ご紹介



「ういんウィンWIN」購読されている仲間の皆様、こんにちは。宇都宮市東築瀬で塚田歯科医院を開設しております塚田典功です。笠井くんと倫理法人会で出会い、栃木SCの応援自販機を病院前に設置させて頂きました。宇都宮市には他に、リンク栃木ブレックス、宇都宮ブリッツェンが本拠地を構えていて、日光市のアイスボックスを加えれば4チームのプロスポーツチームが存在する、全国でも一番のスポーツ処と言えます。それらが効果的および有機的にリンクする事により、町づくりに貢献し宇都宮市としての魅力を高め、さらには各々のチームの発展にもつながると思います。私は歯科医として、スポーツ中に起こる口の中の怪我を未然に防ぎ、大切な歯を守ってくれるプロテクターとして、「マウスガード」の適用をすすめています。強い衝撃から歯を守るために、高性能な衝撃吸収材でできていて、ヘルメットやヘッドギアが頭の怪我を予防するためにあるように、歯の怪我を予防するためにマウスガードがあります。自分の歯で一生噛み続けることができるように、常日頃から歯の健康管理に気を配り、身体と身体がぶつかり合うスポーツに参加する場合には、必ずマウスガードを着用するように心がけましょう。

**塚田歯科医院**

医院長 塚田 典功

【住所】〒321-0925 栃木県宇都宮市東築瀬1丁目38-8  
【電話】028-637-4970

### 弊社新商品「とちまるくんアイス」下野新聞プレスリリース記事に掲載

(以下掲載内容)

異業種連携でアイス販売 栃木素材 県産野菜活用「とちまるくんアイス」

飲料自動販売機設置のウィンウィン（宇都宮市今宮1丁目、笠井隆行社長）は4月、県産ニンジンを使ったアイスクリーム「栃木のめぐみからとちまるくんアイス（にんじん）」を発売する。県のフードバレーとちぎ農商工ファンドを活用し、ウエノファーム（下野市上川島）と開発した。コンセプトは「生産者の顔が見えるアイスクリーム」。県のキャラクター「とちまるくん」を使用し、販促を図る。

小山産のニンジン、県内産の牛乳を使った。95ミリリットルカップ入り。初年度は1千個を生産する。現在、販売元となる小売会社と交渉中。3年後の年間売り上げ4300万円を目標にしている。

両者は2011年7月にファンドの認定を受けた。事業費補助は150万円。ウエノファームを中心とした県内の若手生産者が野菜の規格外品を提供。小山市の社会福祉法人ソフィア会に製造を委託した。

第2弾はカボチャを予定。このほかアスパラ、ナス、ニンニク、ナンなども試作している。笠井社長は「安全安心な食品を作りたかった。一般より高値だが健康にいい。アイスクリーム事業が収益の柱に育てば」と意気込む。

フードバレーを推進する県産業政策課は「農商工連携の具体例。後に続く連携が出てきてほしい。今後は販路拡大の面でも支援したい」としている。



月1回発行 発行元：有限会社ウィンウィン 編集責任者：笠井隆行

「ういん ウィン WIN」 私たちに関わる全ての方が幸せになるようにという願いを込めて同封させていただければと思います。